

第9回 米軍経ヶ岬通信所の設置に係る 安全・安心対策連絡会説明資料

平成28年8月
近畿中部防衛局

これまでの騒音対策

- ・ 平成26年12月 防音パネルの設置
- ・ 平成27年2月16日～3月4日 発電機へのマフラー設置
- ・ 平成27年7月24日～8月4日 発電機周囲の既設防音パネルの強化(嵩上げ)
- ・ 平成27年8月7日～12日 防音パネル(九品寺側境界付近)の設置
- ・ 平成27年10月21日～12月6日 レーダーテントの騒音対策工事の実施



発電機周囲の既設防音パネルの強化



防音パネル(九品寺側境界付近)の設置



レーダーテントの騒音対策工事の実施

騒音調査の結果

(1) 九品寺本堂付近

A特性音圧レベルは、レーダーテントの改修前(H27. 11)と改修後(H28. 5)において、数値上ほぼ同程度(58～59dB)であるが、聴覚上は、改修後にはレーダーテントからの音は確認できない、或いはかすかに聞こえる程度に変化。

(2) 居住地域

聴覚上は発電機の音が確認されたが、各地点のA特性音圧レベルは37～41dB。

A特性音圧レベルの測定結果

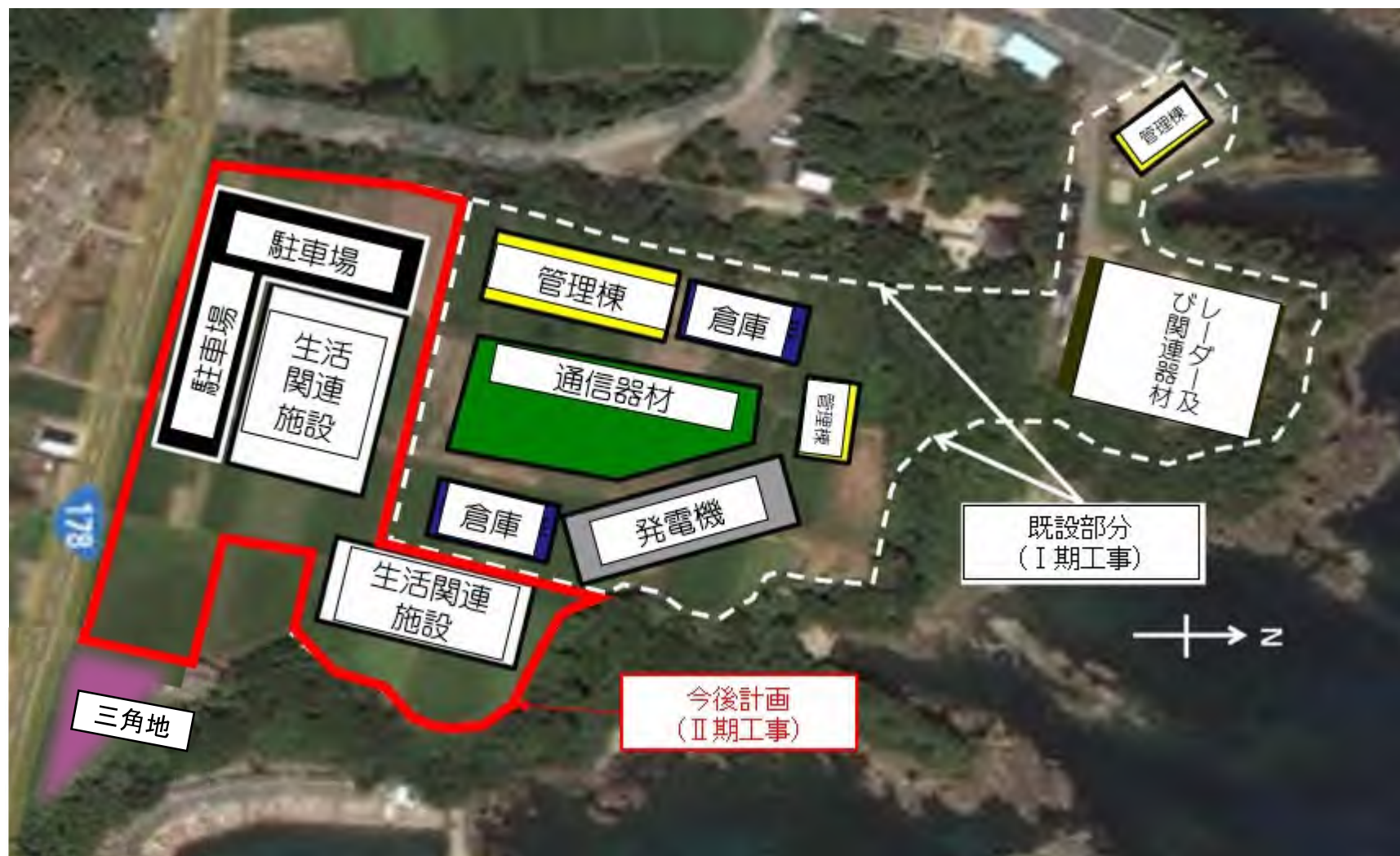
(単位：デシベル)

		平成27年2月7日	平成27年2月25日	平成27年11月5日～6日	平成28年5月24日
九品寺本堂付近		—	—	59	58
居住地域	袖志地区棚田付近	46	45	43	41
	袖志地区萬福寺付近	54	53	44	41
	尾和地区尾和会館付近	40	39	37	37
発電機等の状況	マフラー設置	未	済	済	済
	防音パネル（嵩上げ）	未	未	済	済
	レーダテント改修	未	未	未	済

環境基準： 環境基本法（平成5年法律第91号）第16条第1項の規定に基づく騒音に係る環境上の条件について生活環境を保全し、人の健康の保護に資する上で維持されることが望ましい基準。

地域の類型	基準値	
	昼間 午前6時から午後10時まで	夜間 午後10時から午前6時まで
主として住居の用に供される地域	55dB以下	45dB以下

工事計画図



※変更となる可能性あり

近畿中部防衛局が関係機関へ情報提供した事故一覧

- 28. 7. 4 京丹後市弥栄町 物損事故（車両）
- 28. 7. 21 京丹後市網野町 物損事故（車両）
- 28. 7. 29 京丹後市峰山町 物損事故（ガードレール）
- 28. 8. 22 京丹後市峰山町 物損事故（ポール）

（米側が被害者と整理している事故）

- 28. 8. 25 京丹後市峰山町 物損事故（車両）

これまでの経緯

○ II 住民の安全・安心 (1)交通安全講習会

これまでの開催実績

- ・ 平成26年10月 2日 第1回交通安全講習会
- ・ 平成27年 1月16日 第2回交通安全講習会
- ・ 平成27年 5月13日 第3回交通安全講習会
- ・ 平成27年 8月27日 第4回交通安全講習会
- ・ 平成27年12月 9日 第5回交通安全講習会
- ・ 平成27年12月14日、15日、22日 交通安全講習会（講義）
- ・ 平成28年 1月27日 第6回交通安全講習会
- ・ 平成28年 4月 7日 第7回交通安全講習会
- ・ 平成28年 7月22日 第8回交通安全講習会

第8回 交通安全講習会を開催

近畿中部防衛局と京丹後警察署は、平成28年7月22日（金）、京丹後市峰山町の峰山自動車学校及びJAF京都支部に御協力いただき、経ヶ岬通信所に勤務する軍人等を対象とした交通安全講習会を開催し、米軍人等約30名が参加しました。

今回の講習会では、実車講習で狭路等での運転操作を確認したほか、シートベルトコンビンサー（模擬衝突体験機）を使用し、時速5kmからの衝突体験をすることで、シートベルトの効果を実感しました。また、京丹後署による実演を交えながら、横断歩道における横断歩行者保護について講習を受け、交通違反や横断歩道上での交通事故について学びました。



講習に先立ち挨拶するカルデナス司令官



シートベルトコンビンサー体験



横断歩道における横断歩行者保護についての講習



実車講習の様子

交通誘導・巡回警備実施状況



宇川小学校前での児童の交通誘導



周辺地域の巡回

巡回警備ルート



経ヶ岬通信所周辺地域における電磁界強度調査の結果概要

【資料6】

1 調査の概要

(1) 調査目的

米軍経ヶ岬通信所へのTPY-2レーダー配備に伴う安全・安心対策の一環として、同通信所周辺地域において、継続的にレーダー運用開始前後の電界強度（電力密度）を計測し、電波環境の比較及び安全性の検証を行う。

(2) 調査概要

ア 計測地点

- ①経ヶ岬通信所正面海上 沖合200m地点
- ②袖志区内
- ③尾和区内

イ 計測実施日

- 第1回 平成26年 3月19日（運用前①）
- 第2回 平成26年 7月28日（運用前②）
- 第3回 平成26年10月20日（運用前③）
- 第4回 平成27年 1月26日（運用後①）
- 第5回 平成27年 7月 6日（運用後②）
- 第6回 平成27年10月13日（運用後③）
- 第7回 平成28年 5月19日（運用後④）

【参考】経ヶ岬通信所のTPY-2レーダーは、平成26年12月26日に配備完了。

計測地点



ウ 評価手法

各調査地点とも、1GHz～12GHzの周波数域における電界強度（電力密度）を計測し、その最大値と電波防護指針による一般環境における指針値（※）を比較。

※ 電波防護指針とは、我が国において適用される人体に影響を及ぼさない電波の強さの指針であり、電波が人体にとって安全な状況であるか否かを判断する際の基本的な考え方や基準値を示すもの。

電波防護指針で示す指針値は、十分な安全率を考慮した人体防護を前提としていることから、これを越えた場合でも直ちに人体に影響が及ぶものではない。

なお、今回の比較に用いた一般環境における指針値は、50倍の安全率が考慮されている。

一般環境における電波防護指針値（電力密度）

周波数（計測範囲）	指針値(mW/cm ²)
1GHz～1.5GHz	0.6667～1 【周波数(MHz)/1500】
1.5GHz～12GHz	1

【参考】Xバンド帯域：8GHz～12GHz

2 調 査 結 果

(1) 正面海上沖合200m地点

- 表1のとおり、TPY-2レーダー運用前は1.35GHz付近における電力密度が最も大きい状況であった。
- レーダー運用開始後は、Xバンド帯域の8.78～9.31GHz付近における電力密度が最も大きくなったが、その値は、電波防護指針値を大きく下回る約475分の1～約29,940分の1の範囲であった。
- 以上のことから、TPY-2レーダーの運用後も、住民の健康や生活に影響を及ぼすような電波環境の変化は起きていないことを確認。

表1: 正面海上沖合200m地点の計測結果(全帯域)

	運用前			運用後			
	平成26年 3月19日	平成26年 7月28日	平成26年 10月20日	平成27年 1月26日	平成27年 7月6日	平成27年 10月13日	平成28年 5月19日
周波数 (GHz)	—	1.352	1.353	8.782 (Xバンド帯域)	8.996 (Xバンド帯域)	9.315 (Xバンド帯域)	9.277 (Xバンド帯域)
最大計測値 (mW/cm ²) 【電波防護指針値】	0.04 【0.6667*】	0.0000765 【0.9013】	0.0004939 【0.9020】	0.002107 【1.0000】	0.0000334 【1.0000】	0.0003339 【1.0000】	0.001598 【1.0000】
対比**	約17分の1	約11782分の1	約1826分の1	約475分の1	約29940分の1	約2995分の1	約626分の1

* 周波数不明のため最小の指針値にて比較。

** 指針値に対する計測値の割合。

参考: 正面海上沖合200m地点の計測結果(Xバンド帯)

	運用前			運用後			
	平成26年 3月19日	平成26年 7月28日	平成26年 10月20日	平成27年 1月26日	平成27年 7月6日	平成27年 10月13日	平成28年 5月19日
周波数 (GHz)	—	8.115	9.399	8.782	8.996	9.315	9.277
最大計測値 (mW/cm ²) 【電波防護指針値】	0.04* 【1.0000】	0.00000005054 【1.0000】	0.000000000082 【1.0000】	0.002107 【1.0000】	0.0000334 【1.0000】	0.0003339 【1.0000】	0.001598 【1.0000】
対比**	約25分の1	約1979万分の1	約122億分の1	約475分の1	約29940分の1	約2995分の1	約626分の1

* 周波数不明のためXバンド帯域の値として評価。

** 指針値に対する計測値の割合。

2 調査結果

(2) 袖志区内

- 表2のとおり、TPY-2レーダーの運用前後を通じ、Xバンド帯域外の周波数域における電力密度が最も大きくなる状況に変化はなかった。
- 参考に示したとおり、レーダー運用後のXバンド帯域における電力密度の値は、電波防護指針値を大きく下回る約79万分の1～約9,470万分の1の極めて微少なものであった。
- 袖志区は、レーダー照射方向の後方に位置しているところであるが、調査の結果、TPY-2レーダーの運用後も、住民の健康や生活に影響を及ぼすような電波環境の変化は起きていないことを確認。

表2: 袖志区内の計測結果(全帯域)

	運用前			運用後			
	平成26年 3月19日	平成26年 7月28日	平成26年 10月20日	平成27年 1月26日	平成27年 7月6日	平成27年 10月13日	平成28年 5月19日
周波数 (GHz)	—	1.351	1.352	1.351	1.352	1.351	1.352
最大計測値 (mW/cm ²)	0.00	0.00005671	0.000004717	0.00003923	0.001297	0.00001526	0.00001081
【電波防護指針値】	【0.6667*】	【0.9006】	【0.9013】	【0.9006】	【0.9013】	【0.9006】	【0.9013】
対比**	0	約15881分の1	約191074分の1	約22957分の1	約645分の1	約59017分の1	約83377分の1

* 周波数不明のため最小の指針値にて比較。

** 指針値に対する計測値の割合。

参考: 袖志区内の計測結果(Xバンド帯)

	運用前			運用後			
	平成26年 3月19日	平成26年 7月28日	平成26年 10月20日	平成27年 1月26日	平成27年 7月6日	平成27年 10月13日	平成28年 5月19日
周波数 (GHz)	—	9.369	10.813	8.8310	9.460	8.824	8.584
最大計測値 (mW/cm ²)	0.00*	0.00000001081	0.00000001458	0.00000127	0.00000001056	0.0000002842	0.0000004827
【電波防護指針値】	【1.0000】	【1.0000】	【1.0000】	【1.0000】	【1.0000】	【1.0000】	【1.0000】
対比**	0	約9251万分の1	約6859万分の1	約79万分の1	約9470万分の1	約352万分の1	約207万分の1

* 周波数不明のためXバンド帯域の値として評価。

** 指針値に対する計測値の割合。

2 調査結果

(3) 尾和区内

- 表3のとおり、TPY-2レーダーの運用前後を通じ、Xバンド帯域外の周波数域における電力密度が最も大きくなる状況に変化はなかった。
- 参考に示したとおり、レーダー運用後のXバンド帯域における電力密度の値は、電波防護指針値を大きく下回る約1,220万分の1～約2,731万分の1の極めて微少なものであった。
- 尾和区は、レーダー照射方向の後方に位置しているところであるが、調査の結果、TPY-2レーダーの運用後も、住民の健康や生活に影響を及ぼすような電波環境の変化は起きていないことを確認。

表3: 尾和区内の計測結果(全帯域)

	運用前			運用後			
	平成26年 3月19日	平成26年 7月28日	平成26年 10月20日	平成27年 1月26日	平成27年 7月6日	平成27年 10月13日	平成28年 5月19日
周波数 (GHz)	—	2.163	1.484	1.479	1.478	1.479	1.352
最大計測値 (mW/cm ²)	0.09	0.0000001922	0.0000001674	0.0000007828	0.001331	0.0000001835	0.000001922
【電波防護指針値】	【0.6667*】	【1.0000】	【0.9893】	【0.9860】	【0.9853】	【0.9860】	【0.9013】
対比**	約7分の1	約520万分の1	約590万分の1	約126万分の1	約740分の1	約537万分の1	約47万分の1

* 周波数不明のため最小の指針値にて比較。

** 指針値に対する計測値の割合。

参考: 尾和区内の計測結果(Xバンド帯)

	運用前			運用後			
	平成26年 3月19日	平成26年 7月28日	平成26年 10月20日	平成27年 1月26日	平成27年 7月6日	平成27年 10月13日	平成28年 5月19日
周波数 (GHz)	—	11.985	9.194	8.663	8.809	8.865	9.165
最大計測値 (mW/cm ²)	0.09*	0.000000002206	0.0000000001492	0.00000008197	0.00000003661	0.0000000461	0.00000004717
【電波防護指針値】	【1.0000】	【1.0000】	【1.0000】	【1.0000】	【1.0000】	【1.0000】	【1.0000】
対比**	約11分の1	約4億5千万分の1	約67億分の1	約1220万分の1	約2731万分の1	約2169万分の1	約2120万分の1

* 周波数不明のためXバンド帯域の値として評価。

** 指針値に対する計測値の割合。

地 域 と の 交 流

○ 袖志区海岸清掃（28. 6. 26）



○ 米軍経ヶ岬通信所基地開放イベント（28. 7. 6）



○ 英会話交流（28. 8. 3）



○ 英語であそぼ（28. 7. 27／8. 8）



○ 在日米軍音楽隊演奏会（28. 8. 24）



○ 穴文殊祭典（28. 8. 24）



平成28年度経ヶ岬関連実施予定事業一覧表

事 業 区 分		事 業 の 名 称	補助事業者名
生活・産業対策	再編交付金事業	中浜消防車庫整備事業	京丹後市長
		廃棄物処理施設環境整備事業	
		京丹後市LED防犯灯交換費補助金事業	
		京丹後市LED防犯灯設置費補助金事業	
		LED防犯灯設置事業	
		親子ふれあい広場整備助成事業	
		区民交流広場整備助成事業補助金	
		防災拠点施設改修事業	
		高齢者インフルエンザ予防接種事業	
		袖志共同作業場整備事業	
		袖志地区有害鳥獣防除施設設置事業	
		尾和・袖志地区農道及び水路改修事業	
		袖志地区水路整備	
		袖志漁港集落波浪対策事業	
		市道改修整備事業	
		小学校普通教室等空調化事業	
		小中学校非構造部材落下防止事業	
		竹野体育館改修事業	
		竹野川分遣所指令広報車更新事業	
		幹線道路等防犯カメラ設置事業	
		間人漁港荷捌所等整備事業補助金	
		島津地区集会所整備事業	
	2 2 件		
	障害防止事業	尾和用水路改修事業	京丹後市長
		1 件	
	民生安定助成事業 （一般助成）	救難施設（ヘリポート）	京丹後市長
		1 件	
交通環境整備対策	道路改修事業	浜丹後線（上野平バイパス、宮バイパス）	京都府知事
		間人大宮線	
		2 件	
	道路改修事業 （工事費）	国道178号線（袖志工区、カマヤ工区）、482号線（大山工区）	京都府知事
		1 件	
合 計		2 7 件	



袖志観光トイレ整備事業
(丹後町袖志)



袖志共同作業場整備事業
(丹後町袖志)



尾和中央線改良事業
(丹後町尾和)



小・中学校情報教育環境整備事業
(市全域)

(障害防止事業及び道路改修事業の主な実績)

【障害防止事業】



尾和用水路改修事業

【道路改修事業(補助金)】



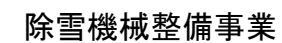
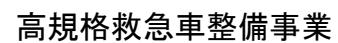
浜丹後線

【道路改修事業(工事費)】



178号線(袖志工区)

【民生安定事業(実績)】

[illegible]

弥栄町 溝谷小学校跡地



救難施設(ヘリポート)

航空自衛隊経ヶ岬分屯基地における施設整備計画の概要

1 施設整備計画

(1) 実施理由

航空自衛隊が、移動警戒隊の展開用地等として利用していた土地を、米軍経ヶ岬通信所用地として提供したことから、新規に用地を取得し、既存施設の移設等を行い、航空自衛隊経ヶ岬分屯基地の基地機能を確保する。

(2) 整備計画

ア 移動警戒隊展開地整備

- ・ 既設基地内の建物（通信局舎）及び工作物（鉄塔等）を撤去し、移動警戒隊の展開地を整備
- ・ 庁舎は、新規取得用地における新設後に撤去予定

イ 新規取得用地における主な施設整備

- ・ 建物：庁舎（RC－3 約4,000㎡）
通信局舎（RC－1 約230㎡）
警衛所（RC－1 約100㎡）等
- ・ 工作物：鉄塔2基（高さ約30m）、グラウンド等

2 計画図



平成28年8月
近畿中部防衛局

航空自衛隊経ヶ岬分屯基地における施設整備 全体計画工程表

工 種	平成27年度												平成28年度												平成29年度														
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
造成工事		■																																					
通信鉄塔新設 局舎新設														■																									
隊庁舎新設 警衛所新設															■																								
庁舎解体 解体跡地整備																												■											
屋外訓練場新設 構内道路整備																																	■						

本表は、現時点での計画工程である。

進捗状況



平成28年8月24日撮影

宇川小学校周辺交通誘導員配置状況

